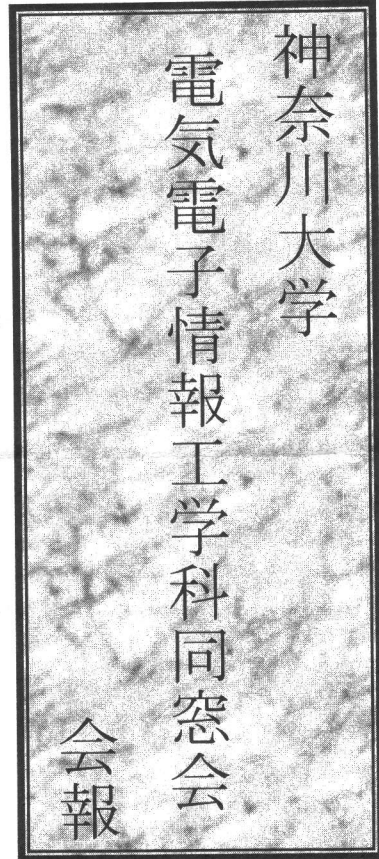


- 平成14年度通常総会開催
役員改選：藪田和夫氏（昭和27年卒）が新会長に
- 電気電子情報工学科近況
- 電気電子情報工学科教員紹介
松澤和光教授
- 会員の近況・思い出
- 同窓会からのお知らせとお願い

平成14年11月17日（日）午前11時から神奈川大学電気電子情報工学科同窓会通常総会が横浜キャンパス1号館8階会議室で行われました。総会の議案事項は第一号議案：平成13年度事業及び収支決算報告に関する件、第二号議案：平成14年度の事業計画及び収支予算に関する件、第三号議案：会則改正に関する件と第四号議案：役員改選に関する件と計4件の議案で原案通り承認されました。第三号議案の会則改定の内容は現行の「役員会幹事のうち2名を副会長とする」という規定を「役員会幹事のうちの若干名を副会長とする」と改正しました。そして、第四号議案の役員改選は亡くなられた内形会長の後任に昭和27年卒の藪田和夫氏、

副会長に昭和41年卒の片山穰氏を副会長として選出、また、学内役員は昭和43年卒の猪野朋敦氏を学内役員に選出し、その他の役員は留任となりました。総会終了後は懇親会が行われ、電気電子情報工学科からは学科主任の渡辺良男先生から学科の現状報告、新任の松澤和光先生のご挨拶、OBの先生では森山允先生からご挨拶を戴きました。その他にも大野吉弘先生、中山明芳先生、前田良夫氏もご出席戴きました。会の最後には辻野次郎丸先生に締めとして戴き盛会のうちに終了いたしました。本年度の同窓会総会・懇親会は10月19日（日）に開催いたします。



神奈川大学電気電子情報工学科同窓会通常総会開催

平成15年9月 No.11

〒221-8686
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学
電気電子情報工学科同窓会
TEL: 045-481-5661 (大学代表)
FAX: 045-491-7915 (大学代表)
E-mail: u215aman@cc.kanagawa-u.ac.jp

神奈川大学電気電子情報工学科同窓会役員

卒業年	学内役員	役職	卒業年	学外役員	役職
昭和42年	米沢 養	会報	昭和17年	小島 一	顧問
昭和43年	猪野 朋	副会長	昭和24年	臼井 和	顧問
昭和44年	穴田 哲	副会長	昭和27年	藪田 和	顧問
昭和47年	旗本 本	名簿	昭和33年	秋田 琢	副会長
昭和48年	打田 一	夫簿	昭和37年	山口 伊勢	総務
昭和49年	上岡 哲	名簿	昭和37年	渡辺 靖	総務
昭和58年	小松 博	計務	昭和41年	片山 橋	副会長
昭和59年	天沼 隆	計務	昭和41年	三橋 正	総務
平成6年	土屋 健	計務	昭和47年	大和田 芳	監事
平成6年	平岡 隆	計務	昭和47年	松本 良	監事
			昭和48年	藤井 一	総務
			昭和50年	小島 勇	計務
			昭和51年	橋本 晃	計務

新役員と略歴
会長 藪田和夫（昭和27年卒）東京電力入社、現職、職業訓練法人日本技能教育開発センター理事長
副会長 片山穰（昭和41年卒）関東電気工事入社、現職、関工第一企業常務取締役
学内役員 猪野朋敦（昭和43年卒、45年大学院電気工学専攻修了）神奈川大学助手、現職、神奈川大学電気電子情報工学科助教

電気電子情報工学科近況



挨拶をする薮田和夫新会長



懇親会で挨拶をする森山允先生

平成13年度神奈川大学電気電子情報工学科同窓会収支(案)
平成13年6月1日から平成14年5月31日

収入		支出	
会費	784,000	通信費	480
(終身会費×9名)		印刷費	0
(年会費×250名)		卒業生記念品	159,040
(その他×2名)		会合費	0
預金利息	653	DPE	861
学科からのご寄付	412,180	消耗品	30,933
前年度繰越金	4,071,167	次年度繰越金	5,076,686
収入合計	5,268,000	支出合計	5,268,000

平成14年度神奈川大学電気電子情報工学科同窓会収支(案)
平成14年6月1日から平成15年5月31日

収入		支出	
会費	945,000	通信費	681,060
(終身会費×18名)		印刷費	195,760
(年会費×185名)		卒業生記念品	149,898
(その他×7名)		会合費	1,330
平成13年懇親会黒字	10,000	DPE	1,848
		消耗品	15,750
前年度繰越金	5,076,686	次年度繰越金	4,986,040
収入合計	6,031,686	支出合計	6,031,686

平成15年度神奈川大学電気電子情報工学科スタッフ

氏名	職名	居室	氏名	職名	研究室
穴田 哲夫	教授	23-513	大出 英長	技術職員	23-609
猪野 朋敦	助教授	23-512			23-610
遠藤 信行	教授	23-515	土屋 健伸	助手	23-608
大野 吉弘	教授	23-627	米田 征司	助手	23-628
木下 宏揚	教授	23-626	稲積 泰宏	助手	23-623
許 瑞邦	教授	23-708	平岡 隆晴	助手	23-601
齊藤 隆弘	教授	23-615	小松 隆	助手	23-618
島 健	教授	23-614	新保 英毅	助手	23-617
新中 新二	教授	23-613	竹内 茂	技術職員	23-612
辻野次郎丸	教授	23-705	上岡 哲宜	技術職員	23-604
豊嶋 久道	助教授	23-625	佐々木孝雄	嘱託職員	23-622
中山 明芳	教授	23-707	阿部 晋	助手	23-602
能登 正人	専任講師	23-616	宇津木敏人	嘱託職員	23-619
平手 孝士	教授	23-706	佐藤 知正	助手	23-603
松澤 和光	教授	23-624	天沼 博	技術職員	23-621
山口 栄雄	助教授	23-511	岩村 保雄	助手	23-630
渡辺 良男	教授	23-514	広田 賢一	技術職員	23-611
呉 勇周	特任講師	6-306			

大学院は「電気電子情報工学専攻」に変更し、定員増へ
平成13年度に「電気工学科」から「電気電子情報工学科」に学科名を変更いたしました。平成15年度からは大学院の専攻名を「電気工学専攻」から「電気電子情報工学専攻」に変更し、入学定員も前期課程を20名から45名、後期課程も3名から6名に増やしました。スタッフは稲積泰宏先生(2003年東京工業大学大学院理工学研究科集積システム専攻博

- 士課程修了)が助手として採用され木下研究室に配属、電気電子情報工学実験2を担当されます。
- 受賞**
- ① 2002年海洋音響学会論文賞、穴田哲夫教授、土屋健伸助手、遠藤信行教授「ダグラス・スキームを用いた放物型方程式法による浅海音波伝播数値解析」
 - ② 2002年計測自動制御学会技術賞、新中新一教授、竹内茂教授技術職員「センサーレス&トランスミッションレス電気自動車の研究開発」
 - ③ IEEE IAS (Industry Application

Society)の2001 First Prize Paper Award、新中新一教授「A New Characteristics-Varying Two-Input/Output Filter in D-Module」

④ 平成14年度電気学会東京支部電気学術奨励賞、電気電子情報工学科4年次木下綾子

訃報

大河内正陽先生がご病気で平成15年6月1日にお亡くなりになりました。大河内先生は昭和33年から13年間奉職され、電子回路などを担当されておりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

電気電子情報工学科教員紹介

「コンピュータが人間の楽しいパートナーになる日は意外に近い」

松澤和光教授

担当科目：情報システム基礎ほか

例えば、「大学生」という言葉だけで、勉強、研究、遊ぶ(?)など人はいろいろなことを思い浮かべることが出来ます。しかしコンピュータに文字を入れてみても、「大学生」の本当の意味を理解してはいませんから、人と同じような判断はまだできません。そこで研究室では、コンピュータにはコンピュータに理解させる研究として、コミュニケーション工学研究室としまして、ジャンルとしては自然言語処理をメインとしています。この研究の一番の問題となっているのが、コンピュータには人間が持っているような常識がないことです。

人間はコミュニケーションをコンピュータに理解させる研究として、コミュニケーション工学研究室としまして、ジャンルとしては自然言語処理をメインとしています。この研究の一番の問題となっているのが、コンピュータには人間が持っているような常識がないことです。

常識を表現しようとすると、数字や起動だけでは無理で人間の言葉で始めないとけませんし、人が誰でも知っているような事柄を定義してコンピュータに教え込むところが大変難しいのです。最終目標はきりがありませんが、コンピュータが冗談を言えるようになるように

り話し相手として人間のいいパートナーになってくれたら楽しいだろうなと思っています。

この研究の魅力は遊びの延長線上にあり、素直に面白いところですね。学問はふざけてはいけないような考えもありますが、ソニーのアイボのように、遊びの要素が役立つ時代になっていきます。人間は遊ぶのがひとつの本質でもあり、遊びからモノは作り出されることも多いものです。モノを楽しく作ることが工学の本質だと思っていますし、使う人が難しいことを考えず、楽しく使えるようなエンジニアリングを研究室ではめざしています。

prof. 人工知能、ことば工学、コミュニケーション論などを研究。スキーの腕前は自称1級で、音楽は浜崎あゆみを聞く。モットーは「楽しむが勝ち」。

※2004 神大巨科(Kanagawa University Campus Guide book)が転載

会員の近況・思い出し

【平成14年度の集書(通信欄・他から)】
○10月12日(土)〜13日(日)。神宮絵画館前の周回コースで行われた24時間ウルトラマラソンに出、140.602kmで、マスターズの部(55才以上)、最高齢(69才)でしたが、三位でメダルをもらいました。後輩も頑張っている様です。箱根も楽しみます。総会には出席できませんが、御盛会を心からお祈り申し上げます。「昭和30年卒山崎善高」

○空飛ぶ自動車ミラクルピークル研究開発に取り組んでいます。10月4日か

ら30日まで、東京丸ビル AFTER 5 YEARS 技術展に実大模型を展示し、好評でした。3ラジコン機も飛行に成功。「昭和33年卒三橋清通」

○地域の親睦と健康、体力維持のため、地域ハイキングクラブに所属し、約月1回、コースの花、紅葉など季節に応じた森林浴を楽しんでいます。我県内の日光は、男体山、戦場ヶ原、小田代ヶ原、中禅寺湖周辺など何回行っても歩き尽きる事はありません。年金生活の一部を紹介いたしました。「昭和36年卒鈴木功悦」

○平成11年に東映(株)を定年退職し、同年4月に(有)千葉教育映像を発足しました。また、今年の映画の日「第47回映画の日」中央大会で永年勤続功労章を受賞する事になりました。座右の銘は和して動ぜず。「昭和37年卒齋藤和雄」

○内形氏の訃報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。機会あれば上京してお会いしたいと思っておりましたが、その夢もかなわず残念です。学生時分、実験助手としてご指導いただいたのも昨日のように思い出されます。個人のすばらしい能力とその人柄を偲びつつ、遅時ながらご冥福をお祈り申し上げます。「昭和37年卒産田耕三」

○二部の違いはありましたが、一緒に卒論を作成した内形さんの訃報を聞き驚きました。冥福をお祈り申し上げます。これで私の所属したゼミで指導していただいた宇田先生、長谷川先生と

皆さまお亡くなりになり、卒業して36年、時代の移り変わりをひしひしと感じる今日この頃です。「昭和41年卒白井一夫」

○平成13年に技術士(情報工学)受験で久しぶりに訪れ、あまりの新しさに驚きました。でも、安心感から合格することが出来ました。高度情報処理試験(論文付き)の受験もできればいいなと思います。「昭和57年卒瀧澤信明」

「六角橋の思い出」

私の学生生活は、横浜に着いた日の下宿探しから始まった。当時、地方出身者が多く、大学の周辺には下宿屋が多く、私もその一軒に友人2人と下宿することとした。すでに隣の部屋に下宿仲間があり、最初の下宿仲間である。食事は、大学の周辺に点在する小さな食堂で、下宿仲間とよく利用した。この食堂のご夫婦は本当にいい方で、支払はノートに書いておき、有る時払いの催促なしであった。我々貧乏学生にとって有難い存在であった。その後下宿屋は数回移ったが、この下宿仲間とは学科も異なっていたが、よく近くの赤提燈で安酒を飲んだものである。当時は苦学生もおり、私は下宿代や学費を稼ぐため、いろいろなアルバイトをしたものである。これらのことは、四十年余り前のことであるが、同窓会などで大学を訪れるたびに、つい最近のことのように思いつく。今は地元出身者が多くなり、下宿屋など少なくなつたようである。「昭和37年卒平松榮三」

昭和41年工学部電気工学科卒の岡圭介と申します。卒業して37年余、思い出も遙かに霞みますが、改めて振り返って見ますと「多感な青春過ぎし人生の基礎を育んでくれた場所」の感が致します。

当時の世相は池田内閣の「所得倍増計画」の積極財政をうけ、昭和39年東京オリンピック・東海道新幹線開通と高度成長期でありました。

貧乏学生の下宿にテレビがあるはずも無く同期の片山穰君(現・関東第一企業常務取締役)や岡田康裕君(現・名古屋大学施設部長)達と学食(と言っても名ばかり)・現在の正門の守衛室付近にあった?木造の立ち食い食堂・でも大きな樹に囲まれた趣のある建物)でカレーライスを食べながらテレビを観・汚れた実験の作業服のまま木陰のベンチで青春を熱く語った様な気が致します。

女子バレーボール金メダル「松平・鬼監督」背筋に冷たいものを感じる人間能力限界を超える迄の稽古・東洋の魔女」は今では古いかもしれないが、精神的な屋台骨を学内外から構築された感じがあります。また、「新幹線」は(当時の講座で「電気鉄道」があった)技術立国を実感する最高のミッションでした。これらに何かわくわくするものを感じましたのは、私だけでは無かったと思います。

4年次での卒論研究は、ゼミ担当の故高木荘七先生のお計らいで、電力中央研究所(現:電力中央研究所狛江研究所)に派遣して頂きました。各大学から学生が来ておりましたが、3年次迄の基礎学科が極めて有効でありました。これは、3年次迄の必須科目を担

神奈川大学の思い出

昭和41年度電気工学科卒

岡圭介

当され先先生方の熱意の賜物と今でも感謝致しております。電中研での研究活動は、厳しいものがありました。が、「神大魂」で遣り抜く事が出来大変勉強になりました。実は、この時ご指導頂きました先生・諸先輩の方々には東京電力入社後も公私に亘ってご指導ご厚誼を賜り現在でもお付き合いを頂いております。人の繋がりとは、「この様な事」かとこの年になって実感しております。人生で与えられた場所です。「一途に取り組む」事の重要性を身に付けた時期でもあります。

研究所には職員と同様な勤務形態で参り、ゼミの輪講の授業時間だけ大学に来ました。そんな中で、クラブ活動として高電圧研究クラブに所属してクラブ誌「高電圧」と云うB5の雑誌に「衝撃電圧測定法」の論文を投稿し、先輩を含め喧々囂々の議論をしたことを覚えております。

東京電力入社後は、20kV以下の設備を扱う「配電部門」の業務に今年6月卒業する迄の37年余従事致しました。

そんな中で、神奈川大学の学生さんを東京電力に頂きたくゼミの先生方に卒業生を道案内にお願いに来たことが何度もありました(現在は考えられない現象でしょうか)。神奈川大学の卒業生の方々とお付き合いは多岐に亘りますが、皆さん真面目で真摯に物事に取り組む姿勢は、自分に取って大変誇りとする所です。

電力での仕事は、多方面に亘りましたが、どう云う理由か「電圧問題」「絶縁設計」に関する業務は一貫して担務させて頂きました。電気学会を始め

術研究活動は仕事として続けて来られた事は自分の人生の証の様気が致します。数年前から「配電系統の絶縁設計見直し」の研究プロジェクトに取り組み、東京電力の各部門の技術者は元より、大学の先生方や電中研の先生方のご指導を頂きながら「新絶縁設計指針」を纏める事が出来ました。そして、論文に纏めるに当たって神奈川大学の電子電気情報工学科の先生方のご指導を賜りました。特に、大野吉弘先生には約2年に亘って親身なご指導を賜りました事に改めて感謝致します。私に取って、母校とは「知的ふるさと」と実感致しております。

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

- 吉田 敏殿 (昭和16年卒)
- 貞包 克己殿 (昭和17年卒)
- 田原 彦一殿 (昭和18年卒)
- 丹羽 健士殿 (昭和19年卒)
- 奥 信義殿 (昭和19年卒)
- 白鳥 一殿 (昭和19年卒)
- 城本 純孝殿 (昭和20年卒)
- 日栄 順造殿 (昭和23年卒)
- 内山 理殿 (昭和24年卒)
- 上原 春雄殿 (昭和30年卒)
- 栗田 賢一殿 (昭和30年卒)
- 吉成 弘殿 (昭和38年卒)
- 大塚 享殿 (昭和40年卒)
- 戸谷 宏殿 (昭和43年卒)
- 石塚 義和殿 (昭和48年卒)

同窓会からのお知らせとお願い

・会費の払い込みについて

平成15年度会費を同封の払込用紙で郵便振替口座(〇〇二〇〇〇一八四二八五一)にお振り込みください。年会費2千円、終身会費3万円で、その際卒業年月、1部・2部・短大・大学院を必ずご記入ください。本同窓会は神奈川大学の同窓会であり「(社)宮陵会」とは別組織となっております。その点をご理解して戴き、ご支援・会費の納入をお願いいたします。

・現住所等の連絡について

住所変更がありましたら同封のハガキ、FAX:045-791-7915、E-mail: 215aman@cc.kanagawa-u.ac.jpまたは会費払込の際に通信欄にてお知らせください。本同窓会会員の住所は「(社)宮陵会」のデータに基づいておりますので住所変更等の連絡は、どちらかにお願いたします。また、会員皆様のご意見、ご要望、近況をお待ちしております。今後とも会員皆様のご支援の程よろしく願います。

・役員・クラス委員・支部長の推薦のお願い

同窓会では役員、支部長(北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)、クラス(年度)委員の推薦をお願いしております。自薦、他薦いずれでも結構です。連絡をお待ちしております。